

**令和6年度
沖縄こどもの貧困緊急対策事業
分析・評価・普及事業 調査報告**

大阪公立大学 現代システム科学研究科 山野研究室

目次

1. 調査概要
2. 連携手法分析 調査結果
3. スクリーニング普及拡大に関する活動報告
4. 総合考察

目次

1. 調査概要

2. 連携手法分析 調査結果

3. スクリーニング普及拡大に関する活動報告

4. 総合考察

◆ 調査の目的

子どもたちの未来が生まれ育った環境によって左右されることなく、自分の可能性を追求できる社会の実現を目指し、沖縄子供の貧困緊急対策事業の効果的な実施のため、沖縄県内の子どもの貧困の状況を把握することを目的とする

◆ 調査種別

(1) 連携手法分析

(2) スクリーニング普及拡大に関わる活動報告

◆ 調査実施主体

沖縄県(こども未来部 こども家庭課)

◆ 調査研究業務受託者

大阪公立大学 現代システム科学研究科 山野則子研究室

目次

1. 調査概要

2. 連携手法分析 調査結果

3. スクリーニング普及拡大に関する活動報告

4. 総合考察

調査の目的

- ◆義務教育ですべての子どもが通う学校において様々な問題につながる可能性のある経済的なリスクを発見し、支援事業につなぐことができないか検討する。
- ◆ツールとして、文部科学省も推奨している(文科省2020)大阪公立大学山野研究室で開発しているYOSS(Yamano Osaka Screening System)を活用する(山野ほか2020)。
- ◆沖縄県におけるモデル校(小学校・中学校)において、すべての子どもを対象にスクリーニング会議にかけて、貧困や様々な困難を抱える子どもを早期に校内で発見する。

調査の対象と方法

- ◆ スクリーニング実施自治体として糸満市と南城市およびうるま市を対象とし、各市の教育委員会協力のもと、調査を実施した。
- ◆ YOSSクラウドサービスを利用中である糸満市の小学校10校、南城市の小学校5校と中学校1校、うるま市の中学校1校のデータを分析に用いた。
- ◆ 入力されたデータ(今年度2回分)を集計し、昨年度との比較を行った。



- ・全児童生徒での比較
- ・経済的に家庭状況が厳しい子どもにおける比較
- ・経済的に家庭状況が厳しい子どもの詳細な分析

学校版スクリーニング YOSSについて



- ◆ 支援が必要な児童生徒を抽出(チーム会議にあげる)し、支援の方向性を自動(AI)判定
- ◆ スクリーニングのために入力する項目は計33項目(+学校独自項目)
 - 学級担任を中心に子どもと関わる教員は、欠席や遅刻・友人関係・授業中の様子など学校適応や学習、家庭状況について15項目
 - 特別支援担当者は支援学級の在籍等について2項目
 - 養護教諭は成長などの健康について4項目
 - 事務は要保護や諸費について2項目
 - 管理職・生徒指導担当者はこれまでのスクールカウンセラー(SC)やスクールソーシャルワーカー(SSW)との関わりについて3項目、地域担当者は学童保育利用などについて5項目、いじめアンケート調査などについて2項目

調査結果① ～今年度のスクリーニング結果～

小学生

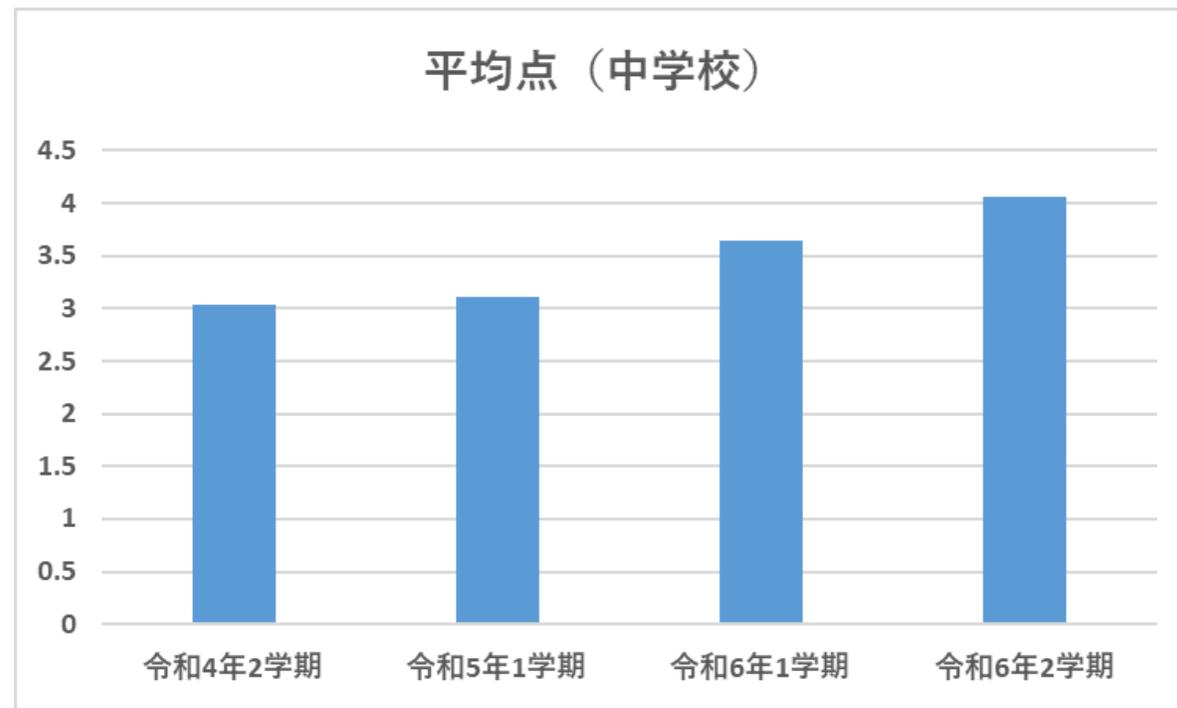
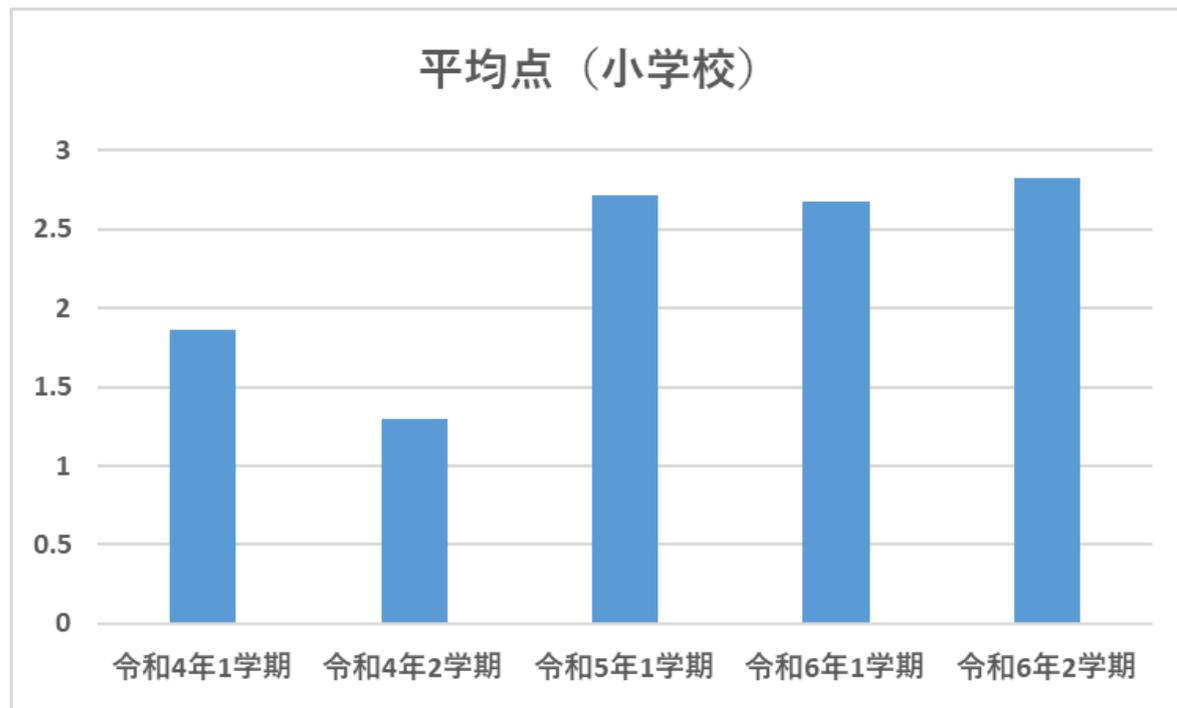
中学生

1学期	小学生全体 (n=6328) 合計点の範囲：0点～33点；合計点の平均値 = 2.68						
	学年	1年生 (n=1032)	2年生 (n=1074)	3年生 (n=1059)	4年生 (n=1060)	5年生 (n=1094)	6年生 (n=1009)
	平均値	1.80	2.35	2.71	3.13	2.64	3.47
2学期	小学生全体 (n=6347) 合計点の範囲：0点～29点；合計点の平均値 = 2.82						
	学年	1年生 (n=1034)	2年生 (n=1080)	3年生 (n=1061)	4年生 (n=1067)	5年生 (n=1099)	6年生 (n=1006)
	平均値	2.04	2.55	2.69	3.18	2.98	3.52

1学期	中学生全体 (n=571) 合計点の範囲：0点～27点；合計点の平均値 = 3.64			
	学年	1年生 (n=207)	2年生 (n=177)	3年生 (n=187)
	平均値	3.32	3.68	3.94
2学期	中学生全体 (n=571) 合計点の範囲：0点～27点；合計点の平均値 = 4.06			
	学年	1年生 (n=207)	2年生 (n=177)	3年生 (n=187)
	平均値	4.07	4.14	3.96

- ・ 調査対象は小学生6,347人、中学生571人であった。
- ・ 小学生・中学生ともに、1学期と比較して2学期で点数の上昇がみられた。

調査結果① ～過去年度との全体の比較～



- 昨年度と比較して、小学生では点数の大きな変化はみられなかった。
- 中学生はわずかだが点数が上昇する傾向が見られた。

調査結果② ～家庭状況の厳しい子どもについての検討～

令和5年度(小中合算)

	要保護・準要保護	諸費滞納	要保護・準 要保護かつ 諸費	項目全体
人数	693	124	90	5896
合計点	3370	1003	1061	16113
平均値	4.86	8.09	11.79	2.73



令和6年度(小中合算)

	要保護・準要保護	諸費滞納	要保護・準 要保護かつ 諸費	項目全体
人数	976	145	94	6918
合計点	5197	1128	1115	20231
平均値	5.32	7.78	11.86	2.92

- 昨年度と同様、「要保護・準要保護」や「諸費滞納」にチェックが付けられた子どもは、全体と比べて点数が高かった。
 - 「要保護・準要保護」と「諸費滞納」の両方にチェックが付けられた児童生徒の課題が、昨年度と比較して同程度以上に表面化していると考えられる。
- 年々点数が増加していることから、経済状況の厳しい児童生徒の課題について、教員がより把握し、アプローチしていこうとしていることの表れとも考えられる。

調査結果③ ～経済状況の厳しい子どもについての詳細～

- 対象は1・2学期のデータを紐づけることができた中学生571人
- 1学期から2学期への点数の増減と支援の方向性との関連を分析した

<「諸費」のチェック記入状況>

	1学期なし	1学期あり
2学期なし	510	0
2学期あり	0	61

(人数)

- 1学期に「諸費」にチェックが付いていた生徒は全員2学期にも「諸費」にチェックが付いていた
- 「諸費」に新たにチェックが付いたり、チェックが消えた生徒はいなかった

<「諸費」にチェックがあった61人の平均合計点数>

1学期・・・6.8 ± 5.7

2学期・・・7.1 ± 5.8

(点)

- 「諸費」にチェックが付いていると、次学期にもチェックは消えず平均スクリーニング点数は上昇している

「諸費」にチェックが付いていた61人の生徒の点数増減の有無（減少3人、維持増加58人）と、各支援の有無（教職員の関与8項目、地域資源の活用8項目）との関連を、カイ二乗検定により分析した。（有意水準は0.05とした）

<結果>

- スクリーニング点数減少群において、「SSWを活用（A判定）」した割合が有意に大きかった。（ $p=0.032$ Fisher正確検定による）
- その他の支援項目と有意な関連はみられなかった。



経済状況が厳しい家庭にある生徒は様々な問題を抱えており、高いスクリーニング点数を示しているが、支援方策としてSSWを活用することで好転につながる可能性がある。

支援種別と良化/維持・悪化との関連

	良化(3人)	維持・悪化(58人)
教職員の関与(人(%))		
担任	2 (66.7)	12 (20.7)
生徒指導や支援	0 (0.0)	5 (8.6)
養護教諭	0 (0.0)	3 (5.2)
特別支援担当	-	-
学年団	1 (33.3)	7 (12.1)
SSWを活用	2 (66.7)	5 (8.6)
SCを活用	0 (0.0)	2 (3.4)
その他	0 (0.0)	4 (6.9)
地域資源の活用(人(%))		
家庭教育支援	-	-
学習支援	1 (33.3)	3 (5.2)
居場所・子ども食堂等	0 (0.0)	1 (1.7)
単発の事業	-	-
地域人材	-	-
学童保育	-	-
地域の福祉サービス	0 (0.0)	1 (1.7)
その他	-	-

カッコ内の数値は良化もしくは維持・悪化内の割合を示す

調査結果のまとめ

- ◆ 全児童生徒のスクリーニング点数(チェック数)は昨年と比較してやや上昇していた。
- ◆ 経済的に家庭状況の厳しい(「要保護・準要保護」「諸費滞納」にチェックがある)子どもについても、昨年度よりスクリーニング点数は上昇していた。
- ◆ 経済的に家庭状況の厳しい子どもについては、SSWを活用することで好転につながる可能性がある。

目次

1. 調査概要

2. 連携手法分析 調査結果

3. スクリーニング普及拡大に関する活動報告

4. 総合考察

概要

- ◆ 糸満市・南城市・うるま市の3自治体の17校(前年度+3校)において、研修会およびスクリーニング会議・校内チーム会議のサポートを行った。
- ◆ 11月30日～12月1日には、糸満市にて「第3回YOSS®マイスター養成講座」を開催し、沖縄県内から14名がYOSS®ベーシックマイスター検定試験に合格された。
- ◆ 毎月実施しているYOSS活用研修ZOOM定例会には未導入自治体も含め県内から毎回ご参加いただき、実施自治体の普及拡大にむけた取り組みを行った。

活動の成果＜南城市＞

- ◆ 5月に現地を訪問し、南城市の教員を対象としたスクリーニング導入研修会を実施した。沖縄県内の自治体からも見学があり、スクリーニングへの関心の高さを感じた。
- ◆ 6月には導入中学校の教員を対象にオンラインでの研修を実施した。
- ◆ 今年度の新規導入校2校を含め、スクリーニング会議に5回、チーム会議に6回オンラインで参加し、サポートを行った。
- ◆ 1回目のスクリーニングが終わった10月と、2回目が終わった2月に、教育委員会と山野研究室で振り返りを行った。
- ◆ 導入校ではスクリーニングがほぼ定着してきているが、人員の不足や過重負担のため継続が困難になる学校も出ている。
- ◆ YOSS®マイスター養成講座に南城市役所職員2名・教員2名が参加、YOSS®ベーシックマイスター資格を取得された。

活動の成果＜糸満市＞

- ◆ 導入10小学校のスクリーニング担当者を対象に5月にオンラインで研修を行った。
- ◆ 今年度新たに教育委員会にこども支援コーディネーターが配置され、スクリーニング会議の運営からシステムの使用法に至るまできめ細かく学校をフォローされた。
- ◆ 市教委から3名・こども未来課から1名がYOSS®マイスター養成講座に参加、YOSS®ベーシックマイスターの資格を取得された。

活動の成果〈うるま市〉

- ◆ 中学校より、スクリーニングを導入し新規不登校が0になった報告を、ZOOM定例会で発表いただいた。
- ◆ 未導入校からYOSS®マイスター養成講座への参加者があった。今後の拡大と定着を図りたい。

活動の成果<YOSS®マイスター講座>

- ◆ 11月30日～12月1日に、糸満市にて「YOSS®マイスター養成講座」を開催した。
- ◆ 沖縄県内から14名が参加され、全員がYOSS®ベーシックマイスター資格を取得された。
- ◆ 未導入の3自治体からも参加があった。

すべての子どもたちの潜在的なSOSを早期にキャッチして適切な支援につなげる

第3回YOSS®マイスター養成講座

参加者募集

YOSS®を体験してみませんか？

支援の見える化・子ども理解が進む

文科省委託：YOSS活用調査結果
チーム力2倍、決定力8倍！
チーム学校を形成する！



YOSS®は山野則子研究室（大阪公立大学）が開発した子どものリスクを発見し学校にチーム体制を作るシステム。開発から深化を遂げ、知識情報の専門家とともにAIを活用したものにし、Panasonicがクラウドサービスを提供するに至った、子ども・家庭支援システムです。学校においてすべての子どもたちの潜在的なSOSを早期にキャッチしとりこぼすことなく適切な支援へとつなげることを可能にします。この講座はYOSS®の効果を最大化し、教員の負担軽減と教育現場における諸問題の改善を推進する「YOSS®マイスター」を養成するプログラムです。YOSS®について学び、2つの会議を効果的に進めるファシリテーション技術を身につけて、チーム学校と子どもの未来の可能性を拓くことをめざします。

2024年
11月30日(土) 9:30～17:00
12月 1日(日) 9:30～14:30

- 講師 山野則子ほか
- 会場 沖縄県糸満市潮崎町1丁目1番2 シャボン玉石げんくくる糸満 会議室1・2
- 参加費 一般：15,000円 契約自治体：無料
- 対象 YOSS®に取り組む（関心のある）自治体職員・学校教職員・SSWなど
- 申込 <https://forms.office.com/r/FJwLrFY8tb>
- 締切 2024年11月25日（月）

講義と演習で実践力UP!

会議を目的に沿って、うまく回す方法を学ぶことで、世界が変わります。徹底的に練習しましょう！

YOSS®マイスター養成講座の概要

1日	午前	YOSS®の概要・活用レッスン (理念・目的・仕組み理解、データ入力など)
	午後	ファシリテーション① (スクリーニング会議の効果的な進め方)
2日	午前	ファシリテーション② (校内チーム会議の効果的な進め方)
	午後	YOSS®マイスターとして活動するために




○ 講座テキストとして「学校版スクリーニングYOSS実践ガイド」（山野則子監修・明石書店・定価1,800円+税）を使用します。開講前に各自ご準備ください。

★YOSS®ベーシックマイスター試験
第2日目の講座終了後15:00から、希望者を対象に「YOSS®ベーシックマイスター試験」を実施します。
(受験料は2000円)合格者はYOSS®ベーシックマイスターとして登録します。
受験を希望される方は、受講申込フォームの「受験を希望する」にチェックをお願いします。
試験要項は受験希望者に別途お知らせします。

主催 大阪公立大学 山野則子研究室 大阪府堺市中央区園町1-1 大阪公立大学 現代システム科学研究科山野研究室
TEL & FAX 072(254)9783 Email or-kyok-sbosjw@omu.ac.jp

活動の成果＜YOSS[®]マイスター講座＞

◆ 受講者の声

・今回しっかりと研修を受けたことで、それぞれの役割やファシリの仕方、YOSSの進め方などを理解することができてとても良かった。(教員)

・事業やシステム導入の際、現場が混乱なくスムーズに、しかもYOSSシステムが必要不可欠と思えるようにするためには、時間と現場での経験、核になるエバンジェリスト(YOSSマイスター等)が必要になると感じた。(行政職員)



今後の課題

・昨年度からの課題は、

①学校内におけるキーパーソンの養成

②行政においてスクリーニングを導入し定着させる人材の確保

③教育DX化においてスムーズなシステム構築が行えるネットワーク環境

の3点であった。

今後の課題

- ①学校内におけるキーパーソンの養成
 - ②行政においてスクリーニングを導入し定着させる人材の確保
-
- ・YOSS®マイスター養成講座を沖縄県内で実施したことによる一定の成果があった。
 - ・来年度はさらに多くの参加が可能になるように工夫し、県内への普及・拡充を目指したい。

今後の課題

③教育DX化においてスムーズなシステム構築が行えるネットワーク環境

- 人員の不足や過重負担のため継続が困難になる学校が出ている。
- クラウドシステムの活用が進むにつれ、使い勝手の課題が明らかになってきた。

今後は、

- スクリーニングを負担感なく効率的に実施するノウハウを学ぶ機会

(YOSS®マイスター養成講座)をより多くの教員・SSW・コーディネーター等に提供する

- 現行のYOSSクラウドシステムを使いやすく改善することにより、YOSSを学校現場で持続可能なシステムにしていくことが課題である。

今後の課題

③教育DX化においてスムーズなシステム構築が行えるネットワーク環境

- 2024年12月20日に「こども未来創造プラットフォーム キックオフシンポジウム」を開催した。
- YOSSクラウドシステムの改善とともに、学習ツールや校務支援システムとの連携など、子どもの最善の利益に資するさらなる可能性を探り、沖縄県の子ども施策に貢献していきたい。

目次

1. 調査概要

2. 連携手法分析 調査結果

3. スクリーニング普及拡大に関する活動報告

4. 総合考察

連携手法分析より

- ◆ 児童生徒全体で見ると、小学生・中学生ともに昨年度と比較して点数（気になる項目のチェック数）はほぼ横ばいであった。
 - 全体として現場の教員がYOSSを活用しつつ児童生徒をよく観察し、早め早めに対応していたことが悪化につながらなかったと考えられる。
 - 今年度はYOSSクラウドサービス導入2年目であるが、AI判定がされていない等、現場ではYOSSをまだ上手く活用できていない部分もあるため、次年度以降、山野研としてもさらなるサポートが必要である。
- ◆ 経済状況が厳しい世帯の子どもに対する支援として、SSWの活用が有効であった。
 - 限定的な分析ではあるが、経済的に困難な世帯の子どもに対する有効なアプローチを見出した意味は大きく、今後さらなる検討を進めていく必要がある。

スクリーニングの普及拡大に関わる活動より

- ◆ 今年度は山野研究室として昨年度以上に多くのサポートを行ってきた結果、多くの成果がみられるとともに、地域や行政を巻き込みながら子どもを支援する体制が定着してきていることは評価できる。
- ◆ 先ほど述べた沖縄県における課題は、全国共通の課題でもあり、「こども未来創造プラットフォーム」内でも協議していくと同時に、沖縄県で得られた取り組みの成果を反映していくことが重要である。

Y^oS^s導入の6工程

作成：大阪公立大学山野研究室

スケジュール参考例

4月
スタート

8月
スタート

1	研修	研修① スクリーニングの意義を理解する 研修② スクリーニングチェック、会議の模擬体験	4月 (春休み) 5月	8月 (夏休み) 9月
2	振り返り 打ち合わせ	研修の振り返り スクリーニング会議に向けての事前打ち合わせ	6月後半	10月後半
3	スクリーニング会議	スクリーニング会議 実施	7月	11月
4	振り返り 打ち合わせ	スクリーニング会議の振り返り 校内チーム会議に向けての事前打ち合わせ	7~8月	11~12月
5	校内チーム会議	校内チーム会議 実施	8月 (夏休み)	12月 (冬休み)
6	振り返り	校内チーム会議の振り返り	8月後半	1月

ご清聴ありがとうございました